

令和元年度第5回神栖市行財政改革推進委員会 会議要旨

日 時	令和元年10月31日(木) 午後1時30分～午後3時30分
場 所	神栖市役所 本庁舎5階 第1委員会室
案 件	(1) 改革チャレンジプラン H30 取組状況に対する所見の最終確認について (2) 改革チャレンジプランの取組に対する提言書について
出席委員数	6名
傍聴者	
会議の要旨等	
<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 案件</p> <p>(1) 改革チャレンジプラン H30 取組状況に対する所見の最終確認について 以下、各プランに対する所見をとりまとめる中での各委員からのご意見。</p> <p>【プラン14 学校の適正規模適正配置の推進】</p> <p>委員：学校の適正規模適正配置については、はじめから統廃合ありきではなく、小規模校なら小規模校の良さを引き出していくことも考えてほしいと思います。小規模校は、生徒一人一人に行き届いた教育が可能となります。秋田県などは、小学校4年生から1クラス20人で、学習に効果を挙げている事例もあります。海外の日本人学校もありますが、1/3程度は小規模校です。今後は、小学校5年生から英語が教科となりますが、一クラスの人数が少ないほど、学習の効果は期待できます。また、学校がなくなると、その周辺の地域は衰退していってしまうのではないかと思います。さらに神栖市の医師不足は、医師が自らの子どもに十分な教育を受けさせたいとのことも一つの原因としてあるようです。小規模校であれば、特色ある教育が実現しやすくなるのではないかと考えます。教育はコストではなく、未来の先行都投資と捉え、検討をお願いしたいと思います。</p> <p>【プラン16 市税等収納率の向上、プラン19 国民健康保険の安定運営】</p> <p>委員：税の収納率やジェネリック医薬品の新指標達成率などは、ぜひ、県内トップなどを目指し、色々な取り組みにチャレンジしていくことを期待します。</p> <p>(2) 改革チャレンジプランの取組に対する提言書について 以下、提言書をまとめる中での各委員からのご意見。</p> <p>委員：私は、改革チャレンジプランとして設定されている取り組み自体に疑問がありました。今後は、各部署が抱えている課題は何なのか、それらをもっと掘り下げていくべきで</p>	

あると思います。達成に至るまでは困難と思われるが、取り組まなければならないことを課題として設定し、その課題解決のためのプランに取り組む、ぜひチャレンジしていくことを期待します。

委員：人口の減少については、切迫した課題として捉え、取り組んでいってほしいと思います。

委員：今後、計画を策定されるときは、こういった課題を設定し、その課題解決のためにこうしたプランに取り組んでいますという流れが分かりやすく定めることができると、より良いのではないかと考えます。

4 その他

5 閉会